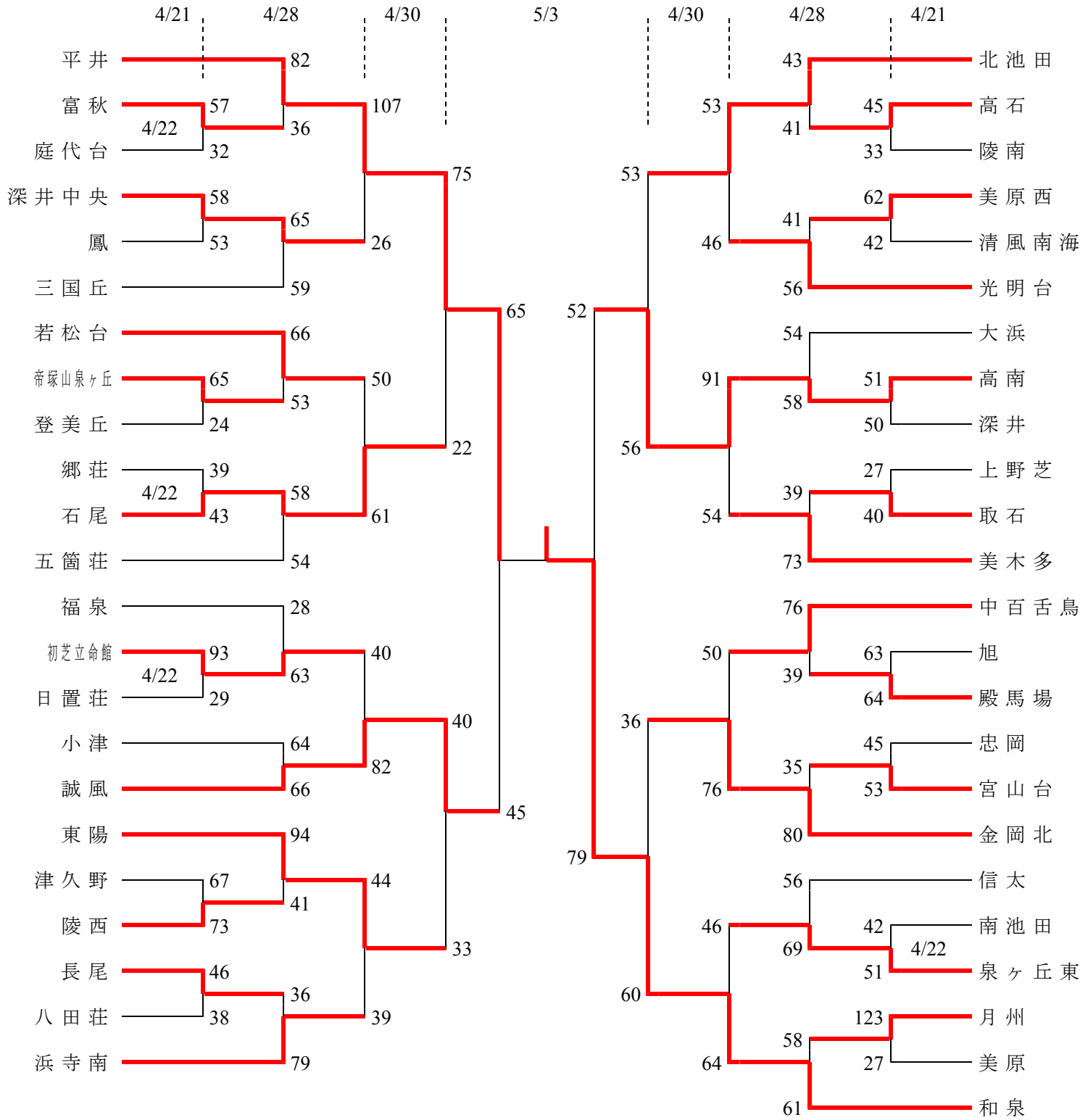


2012年度泉北地区春季大会

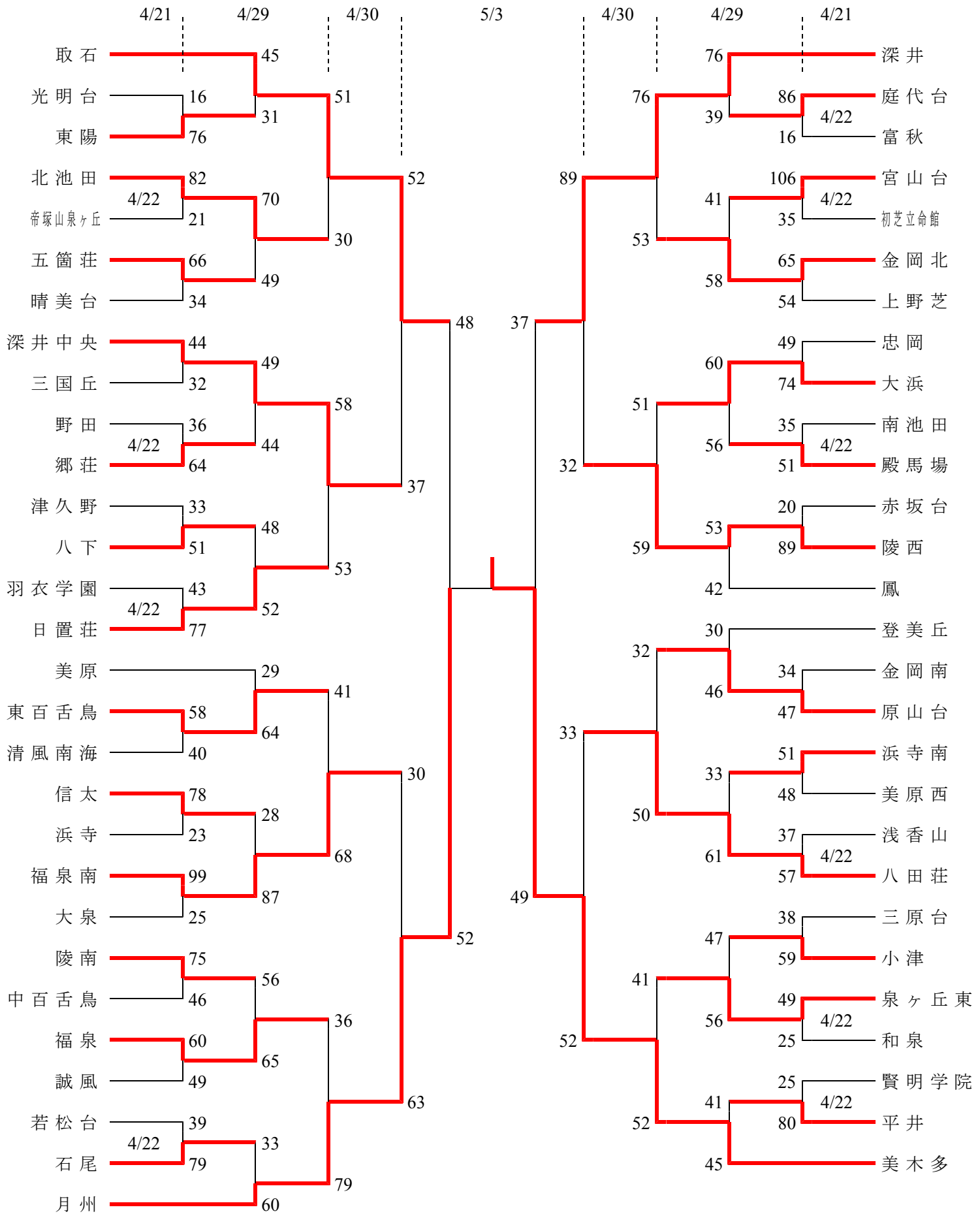
男子の部



決勝
平井 40 - 47 和泉
6 1Q 19
12 2Q 7
8 3Q 11
14 4Q 10

3位決定戦
誠風 61 - 66 高南

女子の部



決勝
月州 4 5 - 4 7 美木多
9 1Q 9
12 2Q 14
10 3Q 11
11 4Q 8
3 OT 5

3位決定戦
取石 53 - 46 深井

男子決勝戦評

平井は④⑤⑥⑦⑧のオールコートマンツーマン、和泉は④⑤⑥⑦⑧の1-1-3のゾーンでスタート。序盤、和泉は④の1対1、⑥の3Pで流れにのる。平井も⑥の1対1や⑦のリバウンドで返すものの、和泉のゾーンを崩すことができない。19-6と和泉がリードして第1Qを終える。

第2Qでも平井は和泉のゾーンに苦しまされるが、⑦のリバウンドシュートなどで差をつめる。逆に和泉のシュートが決まらず、26-18とやや平井が盛り返して前半を終える。

後半に入っても両チームともにディフェンスは変わらない。平井は⑥、⑨の3Pで差を縮めにかかるが、和泉が④、⑥の1対1で逆に引き離し、37-26で第4Qを迎える。

第4Qで平井はディフェンスをオールコートプレスに変化させる。ディフェンスから流れを引き寄せ、⑤、⑥の3P、⑦のリバウンドから43-40まで追い上げる。たまたま和泉はタイムアウト。タイムアウト後、和泉⑧が落ち着いてゴール下を2本連続で決め、平井に傾きかけた流れをシャットアウトした。そのまま47-40で和泉が優勝を飾った。

(國下)

女子決勝戦評

月州④⑤⑥⑧⑨、美木多④⑤⑥⑦⑩で両チームともにハーフマンツーマン。月州④の3Pで試合が動き出す。その後月州は⑧のハイポストからインサイドアウトで外角シュートを狙う。一方、美木多は立ち上がりからミスが目立ちリズムがつかめない。しかし、美木多④を起点にオフェンスを組み立て、3Pとドライブで追いつき、9-9で第1Qを終える。

第2Qの出だしは互いにミスが続き、点が入らない。そんな中、美木多は積極的にドライブを仕掛け、月州のファウルを誘い、フリースローで得点する。月州はポストを有効に使い、3Pやジャンプシュートで対抗し食らいつく。23-21と美木多がリードして前半を終える。

後半が始まると一進一退の攻防が続く。美木多は⑥の3P、⑦のゴール下への飛び込みで一時7点までリードを広げる。しかし、月州がタイムアウトから積極性を取り戻し、⑥の連続ゴールで3点差に追い上げる。

第4Qに入ると、月州は第3Qの勢いそのままに④、⑧のゴールで逆転に成功する。美木多も④のドライブ、速攻で食らいつき、⑦のリバウンドシュートで同点に追いつき延長へ。

延長では美木多⑤がインサイドでがんばり、得点とアシストで5点のリードを奪う。対する月州も3Pで2点差まで詰め寄る。しかし、最後は美木多が落ち着いてボールを支配し、47-45で接戦を制し、優勝を決めた。

(福嶋、小川)